

審査結果報告書

平成 27 年 1 月 20 日

主 査 氏 名

廣畑 俊成

印

副 査 氏 名

河原 克雅

印

副 査 氏 名

岩瀬 和也

印

副 査 氏 名

村雲 芳樹

印

1. 申請者氏名 : 前島 英樹

2. 論文テーマ : Moesin and stress-induced phosphoprotein-1 are possible sero-diagnostic markers of psoriasis
(Moesin と stress-induced phosphoprotein-1 は乾癬の血清学的診断マーカーとなりうる。)

3. 論文審査結果:

尋常性乾癬および乾癬性関節炎は原因不明の難治性疾患であり、時にその診断に難渋することは少なくない。その一因として、血清学的に有効な診断マーカーがないことがあげられる。申請者は、この問題を解決するために、患者血清中の自己抗体が認識する蛋白が患者血清中に特異的に存在する可能性を考えて、プロテオミクスを用いたアプローチを構築し、患者血清中に特異的に発現する蛋白の同定を試みた。その結果、Moesin・STIP1 (Stress-induced phosphoprotein-1) をはじめとするいくつかの蛋白が尋常性乾癬・乾癬性関節炎患者の自己抗体の対応抗原として同定された。これらの蛋白の患者血清中の濃度を健常人血清と比較し、Moesin と STIP1 が感度・特異度において優れたマーカーとなりうることを見出した。関節リウマチをはじめとする他の疾患との鑑別などについても今度検討してゆくことが重要と考えられるが、申請者の発見は尋常性乾癬および乾癬性関節炎の血清診断に大きな進歩をもたらすものであるばかりでなく、その病因・病態を解明する上でも重要な基盤を提供するものである。以上の点より、本論文は学位論文に十分値するものであると判定される。